AOKI NEWS & REPORT

発行：2025 年 7 月 4 日

創業 130 周年記念式典・祝賀会が開催されました

6 月 20 日（金）、水戸市のホテル・ザ・ウエストヒルズにおいて「アオキ創業 130 周年記念式典祝賀会」が開催されました。

グループ社員 136 名を始め、協力会社様、AGC 様、LIXIL 様、YKKAP 様などのお取引メーカーや金融機関などからご来賓 50 名が参列されました。

186 名に及ぶ参列者は、100 周年記念式典の参列者（87 名）をはるかに超え、30 年で果たしたアオキの成長を雄弁に物語っていました。

オープニングは、映像でアオキ 130 年の歩みを紹介。

挨拶に立った青木社長は、次のように話しました。

「皆様方のおかげをもちまして、弊社は 130 周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

弊社の始まりは、明治 28 年（1895 年）になります。創業者・青木治郎吉が若くして実業家を志し、富山県から上京して輸入雑貨を扱う唐物屋に奉公していた時に、働きぶりが認められ、30 歳の時に暖簾分けを許され、茨城県石岡の地に青木商店の暖簾を掲げました。

石油ランプ、ガラス食器、板ガラス等の販売を生業としてスタート。信用を第一に誠実な営業、堅実な経営をすることを信条として、“世のため、人のためになる仕事、地域社会から必要とされる仕事をする”ことを旗印として掲げ、数人の従業員と共に天秤棒を担いで、地方の家々を訪問していたと聞いております。

その後、明治・大正・昭和・平成・令和と激動の歴史の中を代々の経営者と社員たちと

共にその時代のニーズを的確につかんで取扱商材や販売方法、販売エリアを進化させながらコツコツと努力を重ね、事業展開をしてまいりました。

今日では事業エリアも、本社のある石岡市、水戸市、つくば市、栃木県と広げ、お客様のための機能として、ガラス・アルミの加工工場を整備し、建築資材の販売、工事はもとより、10 年以上前からリフォーム事業、不動産事業にも着手し、豊かで快適な住生活を提供することを使命とし、社員一同、日々精進しております。

また、グループ会社として、ビルテクノ㈱、㈱バウハウス、フレクサラムジャパン㈱、諏訪ビルサッシ工業㈱があり、それぞれに独立して事業を展開しながらも互いに協力し合ってシナジー（相乗効果）を高めながら活動しております。

これからも私どもは世のため人のためになる仕事、地域社会から必要とされる仕事をするという創業者の精神を受け継ぎ、“優れた製品とサービスを通じて人びとの豊かで快適な住生活を築き、地域と社会の明るい未来を築く”との企業理念の実現に向かって進んでまいります。そして、これからの 10 年、更にその先の未来に向け、グループ会社を含め全社員で協力し、助け合いながらより良い未来を切り拓いていく所存でございます。

今後とも皆様方関係各位の変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、本日ご列席の皆様と今日まで支えてくださいましたすべての関係者に感謝し、ますますのご健勝と御多幸を心より祈念申し上げまして、ご挨拶といたします」

続いてのご来賓のご祝辞は、次の 3 社様からいただきました。

・AGC㈱様、㈱LIXIL 様、YKK AP㈱様

余興として用意されたのは、「石岡のお囃子」。すべて社員が実演。獅子舞には、青木社長がサプライズ参加。参列者から盛んな拍手喝采を浴びていました。

式典の最後に閉会の挨拶に立った青木常務は、多くの参列者の皆様に謝辞を述べ、「これからはアオキの新しい未来を社員、お取引先、そして地域社会と共に切り拓いていきます」と、力強く宣言しました。